

■6月19日

仙台空港、運営権売却、民営化に向け全国第1号申請

宮城県の村井嘉浩知事は地方空港の運営権売却を巡り、仙台空港を全国第1号とするよう国に求める方針を決めた。国会審議中の関連法案が19日に成立するめどが付き、名乗りを上げることにした。

県は企業に民営化への協力を呼び掛け始めており、大手商社などが関心を示している。

(日経)6/18

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFB17077_Y3A610C1MM0000/ \(->](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFB17077_Y3A610C1MM0000/)

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFB17077_Y3A610C1MM0000/\)](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFB17077_Y3A610C1MM0000/)

PEACH(LCC)、井上CEO、値下げ競争回避・ブランドづくりに傾注

(WSJによると)

ピーチ・アビエーションの井上慎一最高経営責任者(CEO)は18日のインタビューで、「5000円の運賃を3000円にしても意味はない。安さだけが売りの会社になりたくない」と述べ、他のLCCとの値下げ競争を回避する考えを示した。定時運航の確保や迅速な搭乗手続きなどでサービスを向上、価格に頼らず「ブランドづくりに力を入れる」という。

井上CEOは、「(保有機が飛行できる)片道4時間で飛べる範囲が広がる」として、「沖縄を(関西国際空港に次ぐ)第2の拠点とする」と表明。「ピーチの主眼」と位置付ける国際線への乗り継ぎ拠点として活用する考えだ。

(WSJ)6/18

[\[http://jp.wsj.com/article/JJ10132574236509714582520444021662317310524.html\\)\]\(http://jp.wsj.com/article/JJ10132574236509714582520444021662317310524.html\)](http://jp.wsj.com/article/JJ10132574236509714582520444021662317310524.html (-></p></div><div data-bbox=)

- イースター航空(LCC)、成田—仁川線増便を延期

- イースター航空は、2013年夏スケジュール中に予定をしていた成田—仁川線の増便を延期する。延期の理由として、同社GSAIは、新機材として受領予定だったボーイング737-800型機2機が、ボーイング787問題などの影響で納入が遅れていることを明らかにした。今後は、機材受領の状況を見つつ2014年夏スケジュールでの増便を目指す。また、日本発の需要動向をみながら、中部、仙台—韓国線の就航も検討していきたい考えも明らかにした。

トラベルビジョンによると、イースター航空は、現在ボーイング737-800型機を8機保有。当初は6月に新機材1機を受領後、7月から成田—仁川線を1便増便しダブルデイリーで運航する予定で、スロットも確保済み。同路線のロードファクターは80%以上となっており、日本発のアウトバウンドは竹島問題の影響後伸び悩んでいるが、インバウンドは好調に推移していた。

(トラベルビジョン)6/18

[http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57905 \(-> http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57905\)](http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57905 (-> http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57905))

大韓航空、岡山—ソウル線、週2便減便、搭乗率低下

大韓航空は18日、週9往復運航している岡山—ソウル便を7月5日から10月26日まで、週7往復に減便すると発表した。日韓関係の冷え込みや朝鮮半島の情勢不安を背景に搭乗率が低迷しているため。

同便は3月末までの3カ月間も減便し、4月に9往復へ戻っていた。

山陽新聞によると、同社岡山支店によると、団体旅行など大口のキャンセルが相次ぎ、運休する便の4月以降の搭乗率は30~40%程度で推移。同支店は「1991年の就航以来、最悪の落ち込みが続いている。11月以降も予約が低調なら、運休継続や路線から撤退する可能性もある」としている。

(山陽新聞)6/18

[http://www.sanyo.oni.co.jp/news_s/news/d/2013061819463115/ \(->](http://www.sanyo.oni.co.jp/news_s/news/d/2013061819463115/)

[http://www.sanyo.oni.co.jp/news_s/news/d/2013061819463115/\)](http://www.sanyo.oni.co.jp/news_s/news/d/2013061819463115/)

エバー航空、スターアライアンスに加盟

スターアライアンスは18日、エバー航空がスターアライアンスへ正式に加盟したと発表した。これにより台湾の高雄とインドネシアのスラバヤが、新たな就航地として加えられる。

また、年間渡航者数が2009年の300万人余りから2012年に約900万人に達した中国・台湾間市場におけるスターアライアンスのプレゼンスの向上が期待されている。

* 2013年6月18日現在(各アライアンスHPより)

	ワンワールド	スターアライアンス	スカイチーム
加盟数	12社 (*1)	28社	19社

* 1: Mexicana はワンワールド・アライアンス加盟航空会社としての活動を休止

(ANA 共同リリース)6/18

http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-star0618.html (-> http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-star0618.html)

ボーイング社、ボーイング787-10、開発開始、18年引き渡しを目指す

ボーイングは18日、主力機「787」シリーズで大型タイプ787-10ドリームライナーの開発を開始したと発表した。300～330人座席を備え、欧州エアバスが2014年の就航を予定する「A350」に対抗する。すでにシンガポール航空などから102機の受注を得ている。最大航続距離は1万2964キロメートルで、18年の就航開始を目指す。

なお、これまでの発注コミットメントの内訳は、エアリース・コーポレーションが30機、GEキャピタル・アビエーション・サービスが10機、インターナショナル・エアラインズ・グループ/ブリティッシュ・エアウェイズが12機(株主承認待ち)、シンガポール航空が30機、ユナイテッド航空が20機。

また、マックナーニCEOは777後継機(19年引き渡し予定)について「787以上に大きな需要がある。年内に計画を発表する」と表明した。

同機は350席と400席の2タイプを用意する方針。ゼネラル・エレクトリック(GE)の次世代エンジンの搭載のほか、機体の軽量化などで現行の777より燃費性能を2割改善するという。

(日経)6/18

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD180JK_Y3A610C1TJ2000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD180JK_Y3A610C1TJ2000/)

(ボーイングジャパン プレスリリース)6/18

<http://www.boeing.jp/> (-> <http://www.boeing.jp/>)